

令和5年度第3回森町地域公共交通会議 議事録

日 時 令和6年2月14日(水) 14:00～

場 所 森町公民館 1階大会議室

出席者 別添委員会名簿のとおり

概 要 以下のとおり

1. 開 会

2. 会長挨拶

- ・長瀬副町長より挨拶。

※森町地域公共交通会議設置要綱（以下、要綱という。）第5条第2項により、会長は森町副町長が務める。

3. 報告事項

①利用状況集計報告

- ・ 別途資料により説明

【質疑応答なし】

4. 議 事

①今後の運行内容の協議について

- ・ 別途資料により説明

【伊藤委員】 バスの運行を開始してから子どもの利用実績はあるか。今後、子どもの単独利用が発生すると思われるので本議題は重要と思う。

【事 務 局】 子ども単独での利用実績はない状況。一方で、障がいのある方からの問合せはいただくことがあるため、ニーズが想定される。

【深川委員】 バスの運行をアピールするために、音楽等を流してはどうか。待っている方は音で近づいていることが分かり、住民にも町の公共交通として認識してもらえる機会になると思う。

【為国先生】 過去に、私が関わっていた地域で同様の提案をしたことがあるが実現しなかった。法整備等の問題はるか。

【和泉委員】 騒音を規制する法律があるので、個別に判断されることとなる。

【伊藤委員】 利用する方は目的をもってバスを利用するため、音によるアピールの必要性は低いと思う。

【事 務 局】 市街地内では難しいことや車両改造の必要性もあるため、いただいた意見等をもとに検討させていただく。

また、今後も運行内容の見直し検討は実施していくため、午後便の利用状況の含め動向を注視する。

- 【小長井委員】 生活保護受給者の方は通常の運賃となるか。
- 【事務局】 一定の負担を担っていただき、地域で支えていくことを前提としているため、基本的には通常通りの運賃と想定している。
また、車内で生活保護受給者であることを証明することも難しいと思われる。
- 【伊藤委員】 他地域の事例ではどうなっているか。
- 【為国先生】 他地域の事例は拝見したことがない。
新たな視点として、生活保護受給者だけでなく、免許返納者に対しても何かしらの措置があると良いかもしれない。
- 【事務局】 いただいた意見等をもとに検討させていただく。

- ・本会議をもって、変更内容について承認
- ・また、バスの愛称は投票の結果、「もりっくる」に決定

②NPO法人まちづくり支援センター 代表理事 為国 孝敏 氏 総括

- ・森町で実施しているタクシー助成券は午後の利用が多いと聞いており、もりっくるの午後時間帯の利用が少ないため、もりっくとタクシー助成券を組み合わせた移動方法を提案したい
- ・津別町をはじめとして、他地域でこのような手法を実施することで、移動する人自体が増える傾向にある
- ・そのため、今後は市街地や砂原地区も含めて各公共交通を組み合わせた複合的な地域公共交通網の検討・構築が必要となってくる
- ・高齢者は移動自体が少しずつ億劫になる傾向にあるが、健康寿命の延伸を見据えると公共交通による移動は重要である
- ・また、子どもの社会勉強としても公共交通は重要な要素となっている
- ・もりっくるの利用状況自体は順調であるが、運転手不足の問題が全国的にも深刻化しているため、町民全員で森町地域公共交通網を考える体制を確保できると良い

4. その他

- 【中澤委員】 もりっくるは自家用有償旅客運送で運行しているが、道路運送法4条にもとづく一般旅客自動車運送事業となる余地は今後あるか。
- 【事務局】 自治体が責任をもって運行する自家用有償旅客運送のまま進めたいと考えている。
- 【為国先生】 一般旅客自動車運送事業に対応できる第二種運転免許の所有者は全国的に不足している傾向であり、他地域の事例も踏まえるとコミュニティバス等の地域内の交通は、自家用有償旅客運送での運行が望ましいと思われる。

- 【事務局】 次回の会議は令和6年6月の開催を予定。

5. 閉会